



未来をつくる、出会いがある。

# 文化芸術による 子供育成総合事業

- 巡回公演事業
- 芸術家の派遣事業
- コミュニケーション能力向上事業
- 子供夢・アート・アカデミー



## 文化芸術による子供育成総合事業とは？

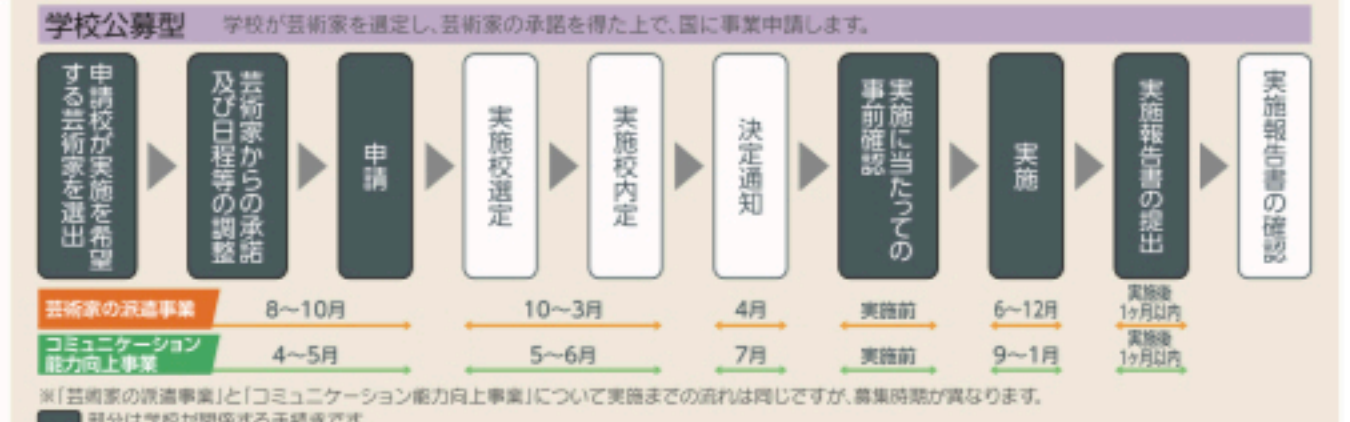
小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、又は小学校・中学校等に個人又は少人数の芸術家を派遣し、子供たちに対し高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施する事業です。子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。



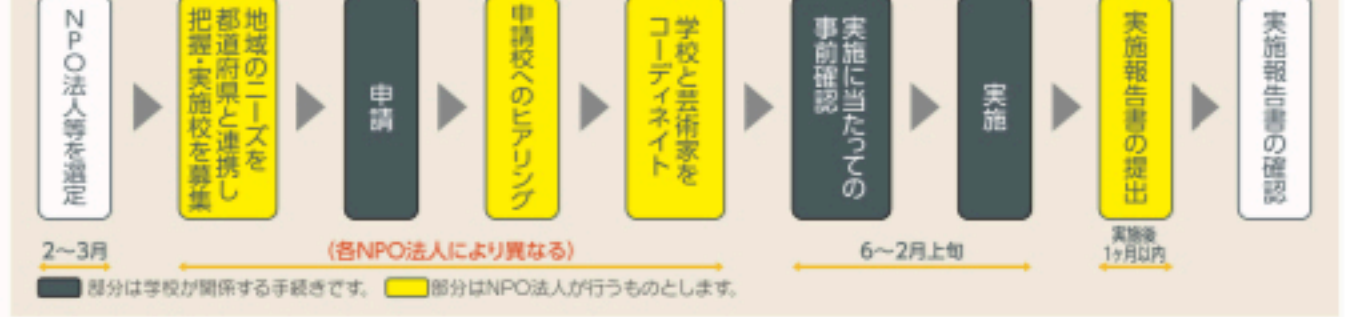
## 実施までのながれ



## 芸術家の派遣事業 共通 コミュニケーション能力向上事業



## NPO法人等提案型



## 子供夢・アート・アカデミー



## お問い合わせ先

文化庁 参事官(芸術文化担当)付 学校芸術教育室 芸術教育推進係 [artedu@mext.go.jp](mailto:artedu@mext.go.jp)



## 巡回公演事業

文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館や文化施設でオーケストラ、演劇等の巡回公演を行います。本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、鑑賞指導や演技指導を行うワークショップでは、公演の鑑賞や児童・生徒との共演により効果的なものを行うことができます。普段授業などで使っていない体育館が、工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体験することができます。



- ポイント**
- 選定された一流の芸術団体
  - 事前に学べるワークショップ
  - 児童・生徒も参加する本公演

実施概要	小学校/中学校 中等教育学校(前期課程) 特別支援学校(小学部・中学部)
実施回数	ワークショップ1回 本公演1回
公演団体	文化庁が選定した文化芸術団体

公演種目	合奏(オーケストラ等) 音楽劇 児童劇 演劇(ミュージカル) 歌舞伎・能楽 人形浄瑠璃 邦楽(邦舞) 演芸 バレエ 現代舞踊 メディア芸術等
------	--

**実施例1 オーケストラ**

本公演プログラム  
● オープニング曲目演奏  
● 楽器紹介  
● 参加体験型プログラムを交えながら複数曲を演奏

「船子」に着目したプログラム構成を特色とし、2拍子・3拍子・4拍子・5拍子・変拍子と、それぞれ異なるリズムを体験し、拍子と曲想の関係性やそれぞれの音楽が持つ特徴を感じ、学ぶことができます。参加型のプログラムでは、代表生徒による指揮者体験や、かけ声や歌での全員参加が可能です。

**実施例2 能楽**

本公演プログラム  
● 狂言「袖山伏(すそやまぶし)」  
● 能「小観世(こがみよ)」

事前のワークショップでは、能楽の歴史や文化を学びます。本公演では、通訳を交えて鑑賞し、楽しい鑑賞体験が待っています。また、事前ワークショップで学んだ内容を、本公演で活かす機会があります。また、事前ワークショップで学んだ内容を、本公演で活かす機会があります。

**実施例3 バレエ**

本公演プログラム  
● 第1部「バレエってなんだろう」  
● 第2部「舞台を見てみよう」  
「シンデレラ」

第1部ではバレエの成り立ちや基礎知識を学び、踊り手のシチュエーションを体験して、バレエをより身近に感じてもらいます。第2部では、第1部で体験したバレエの動きが、実際の作品ではどのように使われるかを、楽しく鑑賞しながら学ぶことができます。代表生徒が参加するシーンもあり、バレエ工芸品ととも、舞台を飾り立てる体験を行うことができます。

**実施例4 ミュージカル**

本公演プログラム  
● オペラ  
「口はロボット(くちがロボット)」

事前のワークショップでは「オペラ」とはどのようなものか、「演劇」と「オペラ」や「ミュージカル」の違いは何か、実演を交えて説明します。また、本公演ではオペラ「口はロボットの口」を鑑賞するとともに、劇中の一曲「オトのパンはあはれ」を生徒全員で歌います。学校劇の楽しさや、パラステーションツアーも行っていきます。



## 芸術家の派遣事業

個人又は少人数の芸術家による講話や演技指導、演技指導を実施します。講話や演技指導では、芸術への関心を高めさせ、優れた芸術を鑑賞することができます。また、ワークショップ等の演技指導を行うことで、日頃触れることのできない貴重な体験をし、芸術を身近なものと感じることが出来ます。



- ポイント**
- 学校が独自に選んだ芸術家に、講演・実演してもらえる
  - 興味のある芸術家を講師として招き、話を聞いたり、演技指導を受けることができます。直接、芸術文化を見て触れて体験できます。

実施概要	小学校/中学校 中等教育学校/高等学校 特別支援学校
実施回数	1~3回
公演団体	個人の芸術家・小規模な芸術家グループ

公演種目	音楽(声楽、楽器など) 大衆芸能(落語、漫才など) 文学(俳句、朗読など) 演劇(現代劇、ミュージカルなど) 美術(彫刻、書、写真など) 生活文化(茶道、茶室など) 舞踊(バレエ、現代舞踊など) 伝統芸能(歌舞伎、和歌など) メディア芸術(メディアアート、動画、アニメーションなど)
------	---

**実施例1 大衆芸能(落語)**

実施内容  
● 「牛ほめ」  
● 「まんじゅう怖い」

約90分程度の実施を3回行います。第1回目の実施では、お獅子、前座、真打の3名がそれぞれの役割や落語の決まり事について紹介し、最後は「牛ほめ」、「まんじゅう怖い」の実演をします。第2回目の実施では、道具の使い方と一緒に学びます。第3回目の実施では実際に生徒が高座にあがり、練習の成果を発表します。全3回の実施を通して徐々に落語に対する理解や関心を深めることができます。

**実施例2 舞踊(ヒップホップダンス)**

実施内容  
● ヒップホップダンス

学年毎に90分程度の実施を行います。(1日2学年の場合、全3回で最大6学年の実施が可能です。)

ストレッチと準備運動から始まり、指導者の実演も交えながら40秒~60秒ほどにまとめたステップを練習していきます。ヒップホップ独特の動きと音楽に合わせて踊る楽しさや仲間と同じ動きを共有する面白さを体験することができます。学年に合わせて曲のテンポやステップの難易度を変えて対応する工夫をしています。